

衆議院原子力問題調査特別委員会ニュース

平成 25. 6. 21 第 183 回国会第 7 号

6 月 21 日（金）、第 7 回の委員会が開かれました。

1 原子力問題に関する件

- ・城内外務大臣政務官、佐藤経済産業大臣政務官、平経済産業大臣政務官、田中原子力規制委員会委員長及び政府参考人並びに参考人に対し質疑を行いました。

（参考人）東京電力株式会社代表執行役副社長

相澤善吾君

（質疑者及び主な質疑内容）

宮下一郎君（自民）

- ・原子力規制委員会が決定した新規規制基準におけるシビアアクシデント対策について、旧基準と比較した安全に係る哲学の違いを、田中原子力規制委員会委員長（以下「田中委員長」という。）に伺いたい。
- ・新規規制基準に基づく原子力発電所の安全審査の具体的な審査方法及び審査に要する期間について、田中委員長に伺いたい。
- ・独立行政法人原子力安全基盤機構（JNES）を原子力規制庁へ統合するために必要な法制上の措置の具体的な内容とその進捗状況について伺いたい。

伊佐進一君（公明）

- ・新規規制基準に基づく原子力発電所の安全審査に際して、審査を緩めることなく、同時にスピード感を持って行う決意を、田中委員長に伺いたい。
- ・使用済核燃料を再処理すると、高レベル放射性廃棄物の体積が直接処分する場合に比べ、約4分の1から7分の1に減容するとされる意味について詳しく説明されたい。

篠原孝君（民主）

- ・我が国の使用済核燃料の最終処分についてどのように考えているのか、平経済産業大臣政務官に伺いたい。
- ・新規規制基準について、電力会社における安全文化等ソフトの面も安全審査の対象となるのか、また、核セキュリティの観点から作業員等の人物チェックの項目が新規規制基準に含まれているのか、田中委員長に伺いたい。
- ・世界に類を見ない地震国である我が国は、原発立地は不向きであり廃炉に向けて進めていくべきと考えるが、田中委員長の個人としての見解を伺いたい。

玉城デニー君（生活）

- ・茨城県東海村にある加速器実験施設「J-PARC」で発生した放射性物質の漏えい事故を受け、国内にある類似施設に対してどのような調査を行ったのか、また、調査結果から今後どのような対策を行っていくべきか、原子力規制委員会に伺いたい。
- ・福島第一原発の2号機タービン建屋東側の観測用井戸の水から、高濃度の放射性物質を検出した事案を踏まえた汚染水の漏えい対策について、田中委員長の見解を伺いたい。

小池政就君（みんな）

- ・使用済核燃料再処理施設、核燃料加工施設及び大学等の研究炉に対する新しい規制基準の検討状況について、田中委員長に伺いたい。
- ・原発の施設を新規規制基準に適合させるために要する対策費用については、電気料金として国民の負担となることが懸念されるが、東京電力における当該費用の回収方法について、相澤副社長に伺いたい。

笠井亮君（共産）

- ・東京電力福島第一原子力発電所事故の原因究明に関して、原子力規制委員会における調査状況及び今後の予定について、田中委員長に伺いたい。
- ・フィルターベント装置の設置について、必要な対策が計画されていれば、工事が未着工又は未完成であっても申請を受け付けるのか、田中委員長に伺いたい。

足立康史君（維新）

- ・本年5月22日に、原子力規制委員会が、日本原子力発電株式会社（以下「日本原電」という。）敦賀原子力発電所の2号機原子炉建屋直下の破砕帯を耐震設計上考慮すべき活断層であると認定した以上、2号機は速やかに廃炉にすべきと考えるが、平経済産業大臣政務官の見解

を伺いたい。

- 廃炉の判断時期を事業者である日本原電に任せていると、最終判断を無制限に繰り延べるのではないかと、平経済産業大臣政務官の見解を伺いたい。
- 原子力規制委員会による敦賀原子力発電所敷地内の活断層の認定は、5月22日に一義的な判断が下されたと認識しているが、田中委員長の見解を伺いたい。